

【神奈川県】
校務DX計画

1 GIGAスクール構想

- (1) GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議の提言を踏まえた課題解決に向けての取組

現時点において、校務系・学習系ネットワークを分離した形でのネットワーク環境や、契約期間等の関係から、次世代の校務DXに向けた環境整備に取り組むことが難しい。

このため、次世代の校務DXに向けた取組を注視しつつ、県教育委員会ネットワークの再構築の検討を行い、できるところから校務DXを積極的に進めていく。

- (2) GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストによる自己点検結果
校務DX化チェックリストにおいては、クラウド環境への対応ができていないことが顕在化した。

表 GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト
(学校設置者向け) (抜粋)

No.	質問項目	回答
12	教職員が校務用の端末を校外においてクラウドベースで使用できる環境を整えていますか。	整えていない
13	クラウド環境を校外で使用した際の適切な勤怠管理・勤務時間管理の仕組みを整えていますか。	整えていない

上記項目を実現する上で障害となる課題は、現状、特にネットワーク環境及び校務用パソコンのスペック等であり、費用である。

解決に向けて、県教育委員会ネットワークの再構築の検討を行っていく。

2 神奈川県学校教育等情報化推進計画

令和6年3月に策定した「神奈川県学校教育等情報化推進計画」においては、校務DXを推進するため、主に次の施策を進めていくこととしている。

- (1) 学校のICT環境整備

- ・校内無線LANの高速かつ安定した通信環境を整備する。
- ・ネットワーク接続の不具合や機器の故障に迅速に対応できる仕組みを検討する。

- (2) 働き方改革とICT推進体制

ア 情報化による校務の効率化の促進

- ・ 教員の事務作業等の負担を軽減するために、現在導入している校務用コミュニケーションツール等について、より効率化を図れるよう検討を進める。
- ・ 学校と家庭との連絡等を円滑かつ効率的に行うシステムの検討を進める。
- ・ テスト答案の電子返却も含め、採点業務・評価の効率化を図るとともに、結果を教育データとして把握できる採点支援システムの検討を進める。
- ・ 特別支援学校の学籍や指導要録、保健情報等を一元化して管理するために、統合型校務支援システムの導入を進める。
- ・ 業務の効率化に向けて、高等学校・中等教育学校における統合型校務支援システムの機能の改修・改善による利便性向上を図る。
- ・ 生徒指導要録及び調査書の原本の電子化について、国の動向を踏まえて検討を進める。

イ ICT推進体制の強化

- ・ ICT機器や活用に関するヘルプデスク機能を充実し、不具合や故障時の解決策のWebサイトへの掲載を拡充させる。
- ・ 児童・生徒の利便性の向上や教員の負担軽減、業務の効率化等のため、教員のICT活用や機器の管理等の支援体制を強化する。
- ・ 高い専門性を有する研究機関や大学、企業等、外部機関、教育委員会の各所管所属や市町村教育委員会と連携しながら、校務DXを牽引・推進することができる、県教育委員会におけるデジタル人材の育成を促進する。
- ・ 県教育委員会の各所属がICT環境整備の充実を進めていくに当たっては、デジタル技術及びICTマネジメントの両面から支援ができる体制づくりを進める。

3 県教育委員会ネットワークの再構築

文部科学省の掲げる校務DXの推進に係る要請に応えるほか、学校教育の情報化に係る様々な要請にもできる限り応えていくため、県教育委員会ネットワークの再構築を検討していく。